

伝導イミュニティ試験システム

【株式会社東陽テクニカ製】

【設備の特徴】

- ・伝導イミュニティ試験システムは、電子機器に接続されるケーブル類に対して、外部から強い電磁波を注入した場合に、その電子機器が誤動作しないかどうかの耐性を評価するシステムです。特に、機器の誤動作が人命に係わる可能性が高い医療用機器、FA機器、自動車などに組み込まれる機器や券売機、ATMなどの金銭を扱う機器では重要な試験です。安全で信頼性の高い製品開発を支援致します。
- ・試験に使用する電磁波が外部に漏れないよう、試験は電波的に隔離された実験設備（電波暗室）の内部で行います。

【設備の仕様概要、技術内容】

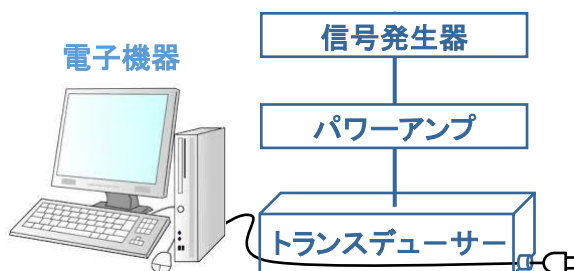
■主な特長

- ・校正された機器による正確な試験
- ・試験周波数150kHz～80MHz、妨害試験レベル10Vemf以上
- ・伝導イミュニティの各種規格試験（IEC61000-4-6、
医用電子機器IEC60601-1-2など）に対応
- ・ノイズ対策技術のご相談も承ります

■仕様概要

周波数範囲	150kHz-80MHz
妨害試験レベル	10Vemf以上(AM 80%)
トランスデューサー	CDN:M1, M2, M3, M4, S9, T8(RJ45), USB, USB3.0, EMクランプ
室内監視システム	TVカメラ2台 (天井および床置き)
制御ソフトウェア	東陽テクニカ IM5/CS

試験のイメージ

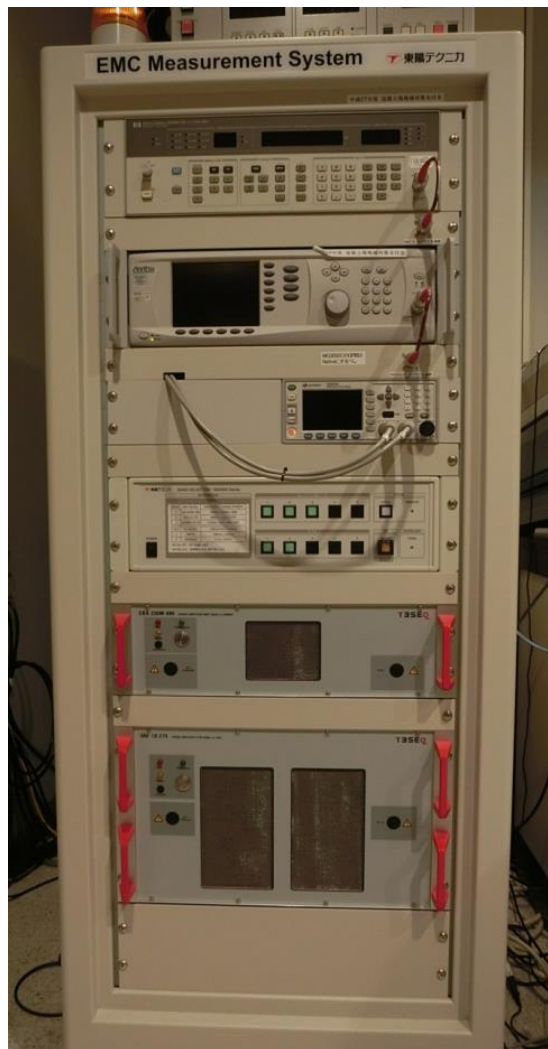


ケーブル類に合わせたトランスデューサーで電磁波を注入します

【活用事例】

150kHz～80MHz帯の電磁波を電子機器の各種ケーブルに注入して、誤動作しないか試験を行います。

信号発生器とパワーアンプ



電波暗室内での測定風景



動作監視カメラ画像, 制御ソフトウェア



【設備の利用について】

詳細については当センターにご相談ください。

【お問い合わせ先】

秋田県産業技術センター

先端機能素子開発部 スピン・ナノデバイスグループ 黒澤 孝裕, 木谷 貴則

TEL:018-866-5800 / FAX:018-866-5803 / Mail: emc@rdc.pref.akita.jp

〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字砂奴寄4-11 / <http://www.rdc.pref.akita.jp/>